

2023年11月28日

各 位

中道リース株式会社

**TSUBASA アライアンスを活用したサステナビリティ・リンク・ローンによる資金調達について**

中道リース株式会社（代表取締役社長：関崇博、以下「中道リース」という。）は、株式会社北洋銀行（頭取：安田 光春）、株式会社第四北越銀行（頭取：殖栗 道郎）及び本ローン概要に貸付人として記載の金融機関とシンジケーション方式サステナビリティ・リンク・ローンの融資契約を締結し、本日付で資金調達を実施しました。

なお、本件には地銀広域連携の「TSUBASA アライアンス(※1)」の枠組みを活かし、同アライアンスから7行が貸付人として参加しております。

中道リースは、「中道リース Vision2030 地域・社会に元気と価値ある変化を届けます～あなたと目指すサステナビリティ～」からバックキャストした重要課題（マテリアリティ）として、「脱炭素・省エネの推進」・「持続可能な地域への貢献」等を掲げており、様々な取組を実施しております。

本件では、当該マテリアリティに対応する非財務 KPI として、「芙蓉ゼロカーボンシティ・サポートプログラム(※2)の適用契約社数」を選定し、SPT を設定しました。

KPI 芙蓉ゼロカーボンシティ・サポートプログラムの適用契約社数

SPT 2023 年度 30 社、次年度以降は前年度目標の 10 社増とすること

なお、本件に関する SLLP、環境省ガイドラインへの適合性については、株式会社格付投資情報センター（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：山崎宏）の第三者意見を取得しております。

<本件の概要>

組 成 金 額：22 億円

契約締結日：2023 年 11 月 24 日

実 行 日：2023 年 11 月 28 日

満 期 日：2028 年 9 月 29 日

アレンジャー：北洋銀行、第四北越銀行

貸 付 人：北洋銀行、第四北越銀行、千葉銀行、中国銀行、東邦銀行、武蔵野銀行、滋賀銀行

※1 TSUBASA アライアンス

千葉銀行、第四北越銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、武蔵野銀行、滋賀銀行、琉球銀行、群馬銀行の10行が参加する地銀広域連携の枠組み

※2 芙蓉ゼロカーボンシティ・サポートプログラム

芙蓉ゼロカーボンシティ・サポートプログラムとは、「2050年までに温室効果ガス又は二酸化炭素の排出実質ゼロ」を目指すゼロカーボンシティ施策を後押しする目的で芙蓉リースグループが設立した寄付金付き優遇ファイナンスプログラム

以上

【お問い合わせ先】

中道リース株式会社 財務部 下村

TEL 011-280-2266